

Q0001

マネジメント・戦略・法務

タグ：WBS

用語：WBSの確認ポイント1：プロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの

次の説明に最も合う用語はどれか。プロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの

- A. クリティカルパス
- B. WBS
- C. サービスデスク
- D. 著作権

答え・解説

Q0001 正答：B. WBS

解説：WBSは、プロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0002

マネジメント・戦略・法務

タグ：WBS

用語：WBSの確認ポイント2：プロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの

WBSの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路
- B. 利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口
- C. プロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの
- D. 著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利

答え・解説

Q0002 正答：C. プロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの

解説：WBSの要点は「プロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0003

マネジメント・戦略・法務

タグ：WBS

用語：WBSの確認ポイント3：プロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「WBS」である。

- A. クリティカルパス：プロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの
- B. サービスデスク：プロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの
- C. 著作権：プロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの
- D. WBS：プロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの

答え・解説

Q0003 正答：D. WBS：プロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの

解説：正しい組合せは「WBS：プロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0004

マネジメント・戦略・法務

タグ：WBS

用語：WBSの確認ポイント4：プロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの

「WBS」は、プロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの

。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0004 正答：○

解説：正しい。WBSはプロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0005

マネジメント・戦略・法務

タグ：WBS

用語：WBSの確認ポイント5：プロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの

組織が「プロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. クリティカルパス
- B. WBS
- C. サービスデスク
- D. 著作権

答え・解説

Q0005 正答：B. WBS

解説：この目的に対応するのはWBSである。プロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したものという機能・考え方を持つためである。

Q0006

マネジメント・戦略・法務

タグ：WBS

用語：WBSの確認ポイント6：プロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの

「WBS」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利
- B. 利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口
- C. プロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの
- D. 遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路

答え・解説

Q0006 正答：C. プロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの

解説：WBSはプロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0007

マネジメント・戦略・法務

タグ：WBS

用語：WBSの確認ポイント7：プロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの

「WBS」は、遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0007 正答：×

解説：誤り。記述はクリティカルパスの説明である。WBSはプロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの。

Q0008

マネジメント・戦略・法務

タグ：WBS

用語：WBSの確認ポイント8：プロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの

次の状況で中心となる論点はどれか。「プロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの」ことが求められている。

- A. WBS
- B. サービスデスク
- C. 著作権
- D. クリティカルパス

答え・解説

Q0008 正答：A. WBS

解説：中心となる論点はWBSである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0009

マネジメント・戦略・法務

タグ：WBS

用語：WBSの確認ポイント9：プロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの

「プロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの」という特徴を持つものを選べ。

- A. 著作権
- B. WBS
- C. サービスデスク
- D. クリティカルパス

答え・解説

Q0009 正答：B. WBS

解説：WBSが該当する。定義はプロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したものであり、他の候補とは機能が異なる。

Q0010

マネジメント・戦略・法務

タグ：クリティカルパス

用語：クリティカルパスの確認ポイント1：遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路

次の説明に最も合う用語はどれか。遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路

- A. SLA
- B. ROI
- C. クリティカルパス
- D. 個人情報

答え・解説

Q0010 正答：C. クリティカルパス

解説：クリティカルパスは、遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0011

マネジメント・戦略・法務

タグ：クリティカルパス

用語：クリティカルパスの確認ポイント2：遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路

クリティカルパスの説明として最も適切なものはどれか。

- A. サービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書
- B. 投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標
- C. 生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの
- D. 遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路

答え・解説

Q0011 正答：D. 遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路

解説：クリティカルパスの要点は「遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0012

マネジメント・戦略・法務

タグ：クリティカルパス

用語：クリティカルパスの確認ポイント3：遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「クリティカルパス」である。

- A. クリティカルパス：遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路
- B. SLA：遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路
- C. ROI：遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路
- D. 個人情報：遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路

答え・解説

Q0012 正答：A. クリティカルパス：遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路

解説：正しい組合せは「クリティカルパス：遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0013

マネジメント・戦略・法務

タグ：クリティカルパス

用語：クリティカルパスの確認ポイント4：遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路

「クリティカルパス」は、遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路

。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0013 正答：○

解説：正しい。クリティカルパスは遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0014

マネジメント・戦略・法務

タグ：クリティカルパス

用語：クリティカルパスの確認ポイント5：遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路

組織が「遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

A. SLA

B. ROI

C. クリティカルパス

D. 個人情報

答え・解説

Q0014 正答：C. クリティカルパス

解説：この目的に対応するのはクリティカルパスである。遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路という機能・考え方を持つためである。

Q0015

マネジメント・戦略・法務

タグ：クリティカルパス

用語：クリティカルパスの確認ポイント6：遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路

「クリティカルパス」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの
- B. 投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標
- C. サービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書
- D. 遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路

答え・解説

Q0015 正答：D. 遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路

解説：クリティカルパスは遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0016

マネジメント・戦略・法務

タグ：クリティカルパス

用語：クリティカルパスの確認ポイント7：遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路

「クリティカルパス」は、サービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0016 正答：×

解説：誤り。記述はSLAの説明である。クリティカルパスは遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路。

Q0017

マネジメント・戦略・法務

タグ：クリティカルパス

用語：クリティカルパスの確認ポイント8：遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路

次の状況で中心となる論点はどれか。「遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路」ことが求められている。

- A. ROI
- B. クリティカルパス
- C. 個人情報
- D. SLA

答え・解説

Q0017 正答：B. クリティカルパス

解説：中心となる論点はクリティカルパスである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0018

マネジメント・戦略・法務

タグ：クリティカルパス

用語：クリティカルパスの確認ポイント9：遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路

「遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路」という特徴を持つものを選べ。

- A. 個人情報
- B. ROI
- C. クリティカルパス
- D. SLA

答え・解説

Q0018 正答：C. クリティカルパス

解説：クリティカルパスが該当する。定義は遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0019

マネジメント・戦略・法務

タグ：SLA

用語：SLAの確認ポイント1：サービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書

次の説明に最も合う用語はどれか。サービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書

- A. サービスデスク
- B. SWOT分析
- C. 損益分岐点
- D. SLA

答え・解説

Q0019 正答：D. SLA

解説：SLAは、サービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0020

マネジメント・戦略・法務

タグ：SLA

用語：SLAの確認ポイント2：サービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書

SLAの説明として最も適切なものはどれか。

- A. サービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書
- B. 利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口
- C. 強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法
- D. 売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準

答え・解説

Q0020 正答：A. サービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書

解説：SLAの要点は「サービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0021

マネジメント・戦略・法務

タグ：SLA

用語：SLAの確認ポイント3：サービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「SLA」である。

- A. サービスデスク：サービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書
- B. SLA：サービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書
- C. SWOT分析：サービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書
- D. 損益分岐点：サービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書

答え・解説

Q0021 正答：B. SLA：サービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書

解説：正しい組合せは「SLA：サービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0022

マネジメント・戦略・法務

タグ：SLA

用語：SLAの確認ポイント4：サービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書

「SLA」は、サービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0022 正答：○

解説：正しい。SLAはサービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0023

マネジメント・戦略・法務

タグ：SLA

用語：SLAの確認ポイント5：サービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書

組織が「サービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. サービスデスク
- B. SWOT分析
- C. 損益分岐点
- D. SLA

答え・解説

Q0023 正答：D. SLA

解説：この目的に対応するのはSLAである。サービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書という機能・考え方を持つためである。

Q0024

マネジメント・戦略・法務

タグ：SLA

用語：SLAの確認ポイント6：サービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書

「SLA」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. サービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書
- B. 売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準
- C. 強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法
- D. 利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口

答え・解説

Q0024 正答：A. サービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書

解説：SLAはサービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0025

マネジメント・戦略・法務

タグ：SLA

用語：SLAの確認ポイント7：サービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書

「SLA」は、利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0025 正答：×

解説：誤り。記述はサービスデスクの説明である。SLAはサービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書。

Q0026

マネジメント・戦略・法務

タグ：SLA

用語：SLAの確認ポイント8：サービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書

次の状況で中心となる論点はどれか。「サービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書」ことが求められている。

- A. SWOT分析
- B. 損益分岐点
- C. SLA
- D. サービスデスク

答え・解説

Q0026 正答：C. SLA

解説：中心となる論点はSLAである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0027

マネジメント・戦略・法務

タグ：SLA

用語：SLAの確認ポイント9：サービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書

「サービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書」という特徴を持つものを選べ。

- A. 損益分岐点
- B. SWOT分析
- C. サービスデスク
- D. SLA

答え・解説

Q0027 正答：D. SLA

解説：SLAが該当する。定義はサービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0028

マネジメント・戦略・法務

タグ：サービスデスク

用語：サービスデスクの確認ポイント1：利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口

次の説明に最も合う用語はどれか。利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口

- A. サービスデスク
- B. ROI
- C. BCP
- D. WBS

答え・解説

Q0028 正答：A. サービスデスク

解説：サービスデスクは、利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0029

マネジメント・戦略・法務

タグ：サービスデスク

用語：サービスデスクの確認ポイント2：利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口

サービスデスクの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標
- B. 利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口
- C. 重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画
- D. プロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの

答え・解説

Q0029 正答：B. 利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口

解説：サービスデスクの要点は「利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0030

マネジメント・戦略・法務

タグ：サービスデスク

用語：サービスデスクの確認ポイント3：利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「サービスデスク」である。

- A. ROI：利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口
- B. BCP：利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口
- C. サービスデスク：利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口
- D. WBS：利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口

答え・解説

Q0030 正答：C. サービスデスク：利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口

解説：正しい組合せは「サービスデスク：利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0031

マネジメント・戦略・法務

タグ：サービスデスク

用語：サービスデスクの確認ポイント4：利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口

「サービスデスク」は、利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0031 正答：○

解説：正しい。サービスデスクは利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0032

マネジメント・戦略・法務

タグ：サービスデスク

用語：サービスデスクの確認ポイント5：利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口

組織が「利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. サービスデスク
- B. ROI
- C. BCP
- D. WBS

答え・解説

Q0032 正答：A. サービスデスク

解説：この目的に対応するのはサービスデスクである。利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口という機能・考え方を持つためである。

Q0033

マネジメント・戦略・法務

タグ：サービスデスク

用語：サービスデスクの確認ポイント6：利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口

「サービスデスク」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. プロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの
- B. 利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口
- C. 重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画
- D. 投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標

答え・解説

Q0033 正答：B. 利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口

解説：サービスデスクは利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0034

マネジメント・戦略・法務

タグ：サービスデスク

用語：サービスデスクの確認ポイント7：利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口

「サービスデスク」は、投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0034 正答：×

解説：誤り。記述はROIの説明である。サービスデスクは利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口。

Q0035

マネジメント・戦略・法務

タグ：サービスデスク

用語：サービスデスクの確認ポイント8：利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口

次の状況で中心となる論点はどれか。「利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口」ことが求められている。

- A. BCP
- B. WBS
- C. ROI
- D. サービスデスク

答え・解説

Q0035 正答：D. サービスデスク

解説：中心となる論点はサービスデスクである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0036

マネジメント・戦略・法務

タグ：サービスデスク

用語：サービスデスクの確認ポイント9：利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口

「利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口」という特徴を持つものを選べ。

- A. サービスデスク
- B. WBS
- C. BCP
- D. ROI

答え・解説

Q0036 正答：A. サービスデスク

解説：サービスデスクが該当する。定義は利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0037

マネジメント・戦略・法務

タグ：ROI

用語：ROIの確認ポイント1：投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標

次の説明に最も合う用語はどれか。投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標

- A. SWOT分析
- B. ROI
- C. 著作権
- D. クリティカルパス

答え・解説

Q0037 正答：B. ROI

解説：ROIは、投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0038

マネジメント・戦略・法務

タグ：ROI

用語：ROIの確認ポイント2：投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標

ROIの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法
- B. 著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利
- C. 投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標
- D. 遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路

答え・解説

Q0038 正答：C. 投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標

解説：ROIの要点は「投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0039

マネジメント・戦略・法務

タグ：ROI

用語：ROIの確認ポイント3：投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「ROI」である。

- A. SWOT分析：投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標
- B. 著作権：投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標
- C. クリティカルパス：投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標
- D. ROI：投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標

答え・解説

Q0039 正答：D. ROI：投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標

解説：正しい組合せは「ROI：投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0040

マネジメント・戦略・法務

タグ：ROI

用語：ROIの確認ポイント4：投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標

「ROI」は、投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0040 正答：○

解説：正しい。ROIは投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0041

マネジメント・戦略・法務

タグ：ROI

用語：ROIの確認ポイント5：投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標

組織が「投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. SWOT分析
- B. ROI
- C. 著作権
- D. クリティカルパス

答え・解説

Q0041 正答：B. ROI

解説：この目的に対応するのはROIである。投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標という機能・考え方を持つためである。

Q0042

マネジメント・戦略・法務

タグ：ROI

用語：ROIの確認ポイント6：投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標

「ROI」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路
- B. 著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利
- C. 投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標
- D. 強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法

答え・解説

Q0042 正答：C. 投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標

解説：ROIは投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0043

マネジメント・戦略・法務

タグ：ROI

用語：ROIの確認ポイント7：投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標

「ROI」は、強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0043 正答：×

解説：誤り。記述はSWOT分析の説明である。ROIは投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標。

Q0044

マネジメント・戦略・法務

タグ：ROI

用語：ROIの確認ポイント8：投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標

次の状況で中心となる論点はどれか。「投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標」ことが求められている。

A. ROI

B. 著作権

C. クリティカルパス

D. SWOT分析

答え・解説

Q0044 正答：A. ROI

解説：中心となる論点はROIである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0045

マネジメント・戦略・法務

タグ：ROI

用語：ROIの確認ポイント9：投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標

「投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標」という特徴を持つものを選び。

- A. クリティカルパス
- B. ROI
- C. 著作権
- D. SWOT分析

答え・解説

Q0045 正答：B. ROI

解説：ROIが該当する。定義は投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0046

マネジメント・戦略・法務

タグ：SWOT分析

用語：SWOT分析の確認ポイント1：強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法

次の説明に最も合う用語はどれか。強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法

- A. BCP
- B. 個人情報
- C. SWOT分析
- D. SLA

答え・解説

Q0046 正答：C. SWOT分析

解説：SWOT分析は、強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0047

マネジメント・戦略・法務

タグ：SWOT分析

用語：SWOT分析の確認ポイント2：強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法

SWOT分析の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画
- B. 生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの
- C. サービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書
- D. 強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法

答え・解説

Q0047 正答：D. 強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法

解説：SWOT分析の要点は「強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0048

マネジメント・戦略・法務

タグ：SWOT分析

用語：SWOT分析の確認ポイント3：強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「SWOT分析」である。

- A. SWOT分析：強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法
- B. BCP：強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法
- C. 個人情報：強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法
- D. SLA：強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法

答え・解説

Q0048 正答：A. SWOT分析：強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法

解説：正しい組合せは「SWOT分析：強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0049

マネジメント・戦略・法務

タグ：SWOT分析

用語：SWOT分析の確認ポイント4：強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法

「SWOT分析」は、強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0049 正答：○

解説：正しい。SWOT分析は強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0050

マネジメント・戦略・法務

タグ：SWOT分析

用語：SWOT分析の確認ポイント5：強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法

組織が「強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. BCP
- B. 個人情報
- C. SWOT分析
- D. SLA

答え・解説

Q0050 正答：C. SWOT分析

解説：この目的に対応するのはSWOT分析である。強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法という機能・考え方を持つためである。

Q0051

マネジメント・戦略・法務

タグ：SWOT分析

用語：SWOT分析の確認ポイント6：強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法

「SWOT分析」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. サービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書
- B. 生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの
- C. 重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画
- D. 強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法

答え・解説

Q0051 正答：D. 強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法

解説：SWOT分析は強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0052

マネジメント・戦略・法務

タグ：SWOT分析

用語：SWOT分析の確認ポイント7：強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法

「SWOT分析」は、重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画

。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0052 正答：×

解説：誤り。記述はBCPの説明である。SWOT分析は強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法。

Q0053

マネジメント・戦略・法務

タグ：SWOT分析

用語：SWOT分析の確認ポイント8：強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法

次の状況で中心となる論点はどれか。「強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法」ことが求められている。

- A. 個人情報
- B. SWOT分析
- C. SLA
- D. BCP

答え・解説

Q0053 正答：B. SWOT分析

解説：中心となる論点はSWOT分析である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0054

マネジメント・戦略・法務

タグ：SWOT分析

用語：SWOT分析の確認ポイント9：強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法

「強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法」という特徴を持つものを選べ。

- A. SLA
- B. 個人情報
- C. SWOT分析
- D. BCP

答え・解説

Q0054 正答：C. SWOT分析

解説：SWOT分析が該当する。定義は強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0055

マネジメント・戦略・法務

タグ：BCP

用語：BCPの確認ポイント1：重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画

次の説明に最も合う用語はどれか。重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画

- A. 著作権
- B. 損益分岐点
- C. サービスデスク
- D. BCP

答え・解説

Q0055 正答：D. BCP

解説：BCPは、重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0056

マネジメント・戦略・法務

タグ：BCP

用語：BCPの確認ポイント2：重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画

BCPの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画
- B. 著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利
- C. 売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準
- D. 利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口

答え・解説

Q0056 正答：A. 重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画

解説：BCPの要点は「重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0057

マネジメント・戦略・法務

タグ：BCP

用語：BCPの確認ポイント3：重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「BCP」である。

- A. 著作権：重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画
- B. BCP：重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画
- C. 損益分岐点：重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画
- D. サービスデスク：重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画

答え・解説

Q0057 正答：B. BCP：重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画

解説：正しい組合せは「BCP：重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0058

マネジメント・戦略・法務

タグ：BCP

用語：BCPの確認ポイント4：重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画

「BCP」は、重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0058 正答：○

解説：正しい。BCPは重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0059

マネジメント・戦略・法務

タグ：BCP

用語：BCPの確認ポイント5：重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画

組織が「重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 著作権
- B. 損益分岐点
- C. サービスデスク
- D. BCP

答え・解説

Q0059 正答：D. BCP

解説：この目的に対応するのはBCPである。重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画という機能・考え方を持つためである。

Q0060

マネジメント・戦略・法務

タグ：BCP

用語：BCPの確認ポイント6：重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画

「BCP」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画
- B. 利用者からの問合せや障害連絡の単一窓口
- C. 売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準
- D. 著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利

答え・解説

Q0060 正答：A. 重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画

解説：BCPは重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0061

マネジメント・戦略・法務

タグ：BCP

用語：BCPの確認ポイント7：重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画

「BCP」は、著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0061 正答：×

解説：誤り。記述は著作権の説明である。BCPは重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画。

Q0062

マネジメント・戦略・法務

タグ：BCP

用語：BCPの確認ポイント8：重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画

次の状況で中心となる論点はどれか。「重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画」ことが求められている。

A. 損益分岐点

B. サービスデスク

C. BCP

D. 著作権

答え・解説

Q0062 正答：C. BCP

解説：中心となる論点はBCPである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0063

マネジメント・戦略・法務

タグ：BCP

用語：BCPの確認ポイント9：重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画

「重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画」という特徴を持つものを選び。

- A. サービスデスク
- B. 損益分岐点
- C. 著作権
- D. BCP

答え・解説

Q0063 正答：D. BCP

解説：BCPが該当する。定義は重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0064

マネジメント・戦略・法務

タグ：著作権

用語：著作権の確認ポイント1：著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利

次の説明に最も合う用語はどれか。著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利

- A. 著作権
- B. 個人情報
- C. WBS
- D. ROI

答え・解説

Q0064 正答：A. 著作権

解説：著作権は、著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0065

マネジメント・戦略・法務

タグ：著作権

用語：著作権の確認ポイント2：著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利

著作権の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの
- B. 著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利
- C. プロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの
- D. 投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標

答え・解説

Q0065 正答：B. 著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利

解説：著作権の要点は「著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0066

マネジメント・戦略・法務

タグ：著作権

用語：著作権の確認ポイント3：著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「著作権」である。

- A. 個人情報：著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利
- B. WBS：著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利
- C. 著作権：著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利
- D. ROI：著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利

答え・解説

Q0066 正答：C. 著作権：著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利

解説：正しい組合せは「著作権：著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0067

マネジメント・戦略・法務

タグ：著作権

用語：著作権の確認ポイント4：著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利

「著作権」は、著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0067 正答：○

解説：正しい。著作権は著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0068

マネジメント・戦略・法務

タグ：著作権

用語：著作権の確認ポイント5：著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利

組織が「著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 著作権
- B. 個人情報
- C. WBS
- D. ROI

答え・解説

Q0068 正答：A. 著作権

解説：この目的に対応するのは著作権である。著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利という機能・考え方を持つためである。

Q0069

マネジメント・戦略・法務

タグ：著作権

用語：著作権の確認ポイント6：著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利

「著作権」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 投資額に対する利益の割合で投資効率を表す指標
- B. 著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利
- C. プロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの
- D. 生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの

答え・解説

Q0069 正答：B. 著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利

解説：著作権は著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0070

マネジメント・戦略・法務

タグ：著作権

用語：著作権の確認ポイント7：著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利

「著作権」は、生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0070 正答：×

解説：誤り。記述は個人情報の説明である。著作権は著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利。

Q0071

マネジメント・戦略・法務

タグ：著作権

用語：著作権の確認ポイント8：著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利

次の状況で中心となる論点はどれか。「著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利」ことが求められている。

- A. WBS
- B. ROI
- C. 個人情報
- D. 著作権

答え・解説

Q0071 正答：D. 著作権

解説：中心となる論点は著作権である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0072

マネジメント・戦略・法務

タグ：著作権

用語：著作権の確認ポイント9：著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利

「著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利」という特徴を持つものを選べ。

- A. 著作権
- B. ROI
- C. WBS
- D. 個人情報

答え・解説

Q0072 正答：A. 著作権

解説：著作権が該当する。定義は著作物の創作者に複製や公衆送信などを認める権利であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0073

マネジメント・戦略・法務

タグ：個人情報

用語：個人情報の確認ポイント1：生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの

次の説明に最も合う用語はどれか。生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの

- A. 損益分岐点
- B. 個人情報
- C. クリティカルパス
- D. SWOT分析

答え・解説

Q0073 正答：B. 個人情報

解説：個人情報は、生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0074

マネジメント・戦略・法務

タグ：個人情報

用語：個人情報の確認ポイント2：生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの

個人情報の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準
- B. 遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路
- C. 生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの
- D. 強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法

答え・解説

Q0074 正答：C. 生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの

解説：個人情報の要点は「生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0075

マネジメント・戦略・法務

タグ：個人情報

用語：個人情報の確認ポイント3：生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「個人情報」である。

- A. 損益分岐点：生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの
- B. クリティカルパス：生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの
- C. SWOT分析：生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの
- D. 個人情報：生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの

答え・解説

Q0075 正答：D. 個人情報：生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの

解説：正しい組合せは「個人情報：生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0076

マネジメント・戦略・法務

タグ：個人情報

用語：個人情報の確認ポイント4：生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの

「個人情報」は、生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0076 正答：○

解説：正しい。個人情報は生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0077

マネジメント・戦略・法務

タグ：個人情報

用語：個人情報の確認ポイント5：生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの

組織が「生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 損益分岐点
- B. 個人情報
- C. クリティカルパス
- D. SWOT分析

答え・解説

Q0077 正答：B. 個人情報

解説：この目的に対応するのは個人情報である。生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるものという機能・考え方を持つためである。

Q0078

マネジメント・戦略・法務

タグ：個人情報

用語：個人情報の確認ポイント6：生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの

「個人情報」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 強み・弱み・機会・脅威の四視点で環境を分析する手法
- B. 遅延するとプロジェクト全体の完了が遅れる最長経路
- C. 生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの
- D. 売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準

答え・解説

Q0078 正答：C. 生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの

解説：個人情報は生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0079

マネジメント・戦略・法務

タグ：個人情報

用語：個人情報の確認ポイント7：生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの

「個人情報」は、売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0079 正答：×

解説：誤り。記述は損益分岐点の説明である。個人情報は生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの。

Q0080

マネジメント・戦略・法務

タグ：個人情報

用語：個人情報の確認ポイント8：生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの

次の状況で中心となる論点はどれか。「生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの」ことが求められている。

A. 個人情報

B. クリティカルパス

C. SWOT分析

D. 損益分岐点

答え・解説

Q0080 正答：A. 個人情報

解説：中心となる論点は個人情報である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0081

マネジメント・戦略・法務

タグ：個人情報

用語：個人情報の確認ポイント9：生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの

「生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるもの」という特徴を持つものを選べ。

- A. SWOT分析
- B. 個人情報
- C. クリティカルパス
- D. 損益分岐点

答え・解説

Q0081 正答：B. 個人情報

解説：個人情報が該当する。定義は生存する個人に関する情報で特定の個人を識別できるものであり、他の候補とは機能が異なる。

Q0082

マネジメント・戦略・法務

タグ：損益分岐点

用語：損益分岐点の確認ポイント1：売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準

次の説明に最も合う用語はどれか。売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準

- A. WBS
- B. SLA
- C. 損益分岐点
- D. BCP

答え・解説

Q0082 正答：C. 損益分岐点

解説：損益分岐点は、売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0083

マネジメント・戦略・法務

タグ：損益分岐点

用語：損益分岐点の確認ポイント2：売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準

損益分岐点の説明として最も適切なものはどれか。

- A. プロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの
- B. サービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書
- C. 重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画
- D. 売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準

答え・解説

Q0083 正答：D. 売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準

解説：損益分岐点の要点は「売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0084

マネジメント・戦略・法務

タグ：損益分岐点

用語：損益分岐点の確認ポイント3：売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「損益分岐点」である。

- A. 損益分岐点：売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準
- B. WBS：売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準
- C. SLA：売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準
- D. BCP：売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準

答え・解説

Q0084 正答：A. 損益分岐点：売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準

解説：正しい組合せは「損益分岐点：売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0085

マネジメント・戦略・法務

タグ：損益分岐点

用語：損益分岐点の確認ポイント4：売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準

「損益分岐点」は、売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0085 正答：○

解説：正しい。損益分岐点は売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0086

マネジメント・戦略・法務

タグ：損益分岐点

用語：損益分岐点の確認ポイント5：売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準

組織が「売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

A. WBS

B. SLA

C. 損益分岐点

D. BCP

答え・解説

Q0086 正答：C. 損益分岐点

解説：この目的に対応するのは損益分岐点である。売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準という機能・考え方を持つためである。

Q0087

マネジメント・戦略・法務

タグ：損益分岐点

用語：損益分岐点の確認ポイント6：売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準

「損益分岐点」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 重大な中断時にも重要業務を継続・早期復旧するための計画
- B. サービス提供者と利用者が品質水準や測定方法を合意した文書
- C. プロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの
- D. 売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準

答え・解説

Q0087 正答：D. 売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準

解説：損益分岐点は売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0088

マネジメント・戦略・法務

タグ：損益分岐点

用語：損益分岐点の確認ポイント7：売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準

「損益分岐点」は、プロジェクト成果物と作業を管理可能な単位へ階層分解したもの。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0088 正答：×

解説：誤り。記述はWBSの説明である。損益分岐点は売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準。

Q0089

マネジメント・戦略・法務

タグ：損益分岐点

用語：損益分岐点の確認ポイント8：売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準

次の状況で中心となる論点はどれか。「売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準」ことが求められている。

- A. SLA
- B. 損益分岐点
- C. BCP
- D. WBS

答え・解説

Q0089 正答：B. 損益分岐点

解説：中心となる論点は損益分岐点である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0090

マネジメント・戦略・法務

タグ：損益分岐点

用語：損益分岐点の確認ポイント9：売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準

「売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準」という特徴を持つものを選べ。

- A. BCP
- B. SLA
- C. 損益分岐点
- D. WBS

答え・解説

Q0090 正答：C. 損益分岐点

解説：損益分岐点が該当する。定義は売上高と総費用が等しく利益がゼロとなる売上水準であり、他の候補とは機能が異なる。